

第29回時計技能競技全国大会募集要項

記

1. 競技日程

11月17日(木)	14:00	選手集合・席順抽選
	15:00～	開会式
	15:30～	準備
	17:00	解散
11月18日(金)	08:30	選手集合
	08:30～	人員点呼
	08:40～	競技の説明
	09:30	競技課題Ⅰの開始
	12:30	競技課題Ⅰの打ち切り
	12:30～	昼食
	13:20	着席
	13:30	競技課題Ⅱの開始
	17:30	課題Ⅱの打ち切り
	17:30～	片付け・梱包
	18:00	解散
11月19日(土)	08:50	集合
	09:00～	閉会式・表彰式
	11:00	解散

2. 競技開催会場

近江神宮内 「近江勸学館」

〒520-0015 滋賀県大津市神宮町1-1

Tel. 077-524-3940 Fax. 077-522-3618

3. 競技課題概略及び制限時間

第一部門

課題Ⅰ セイコー Cal. 7T92A アナログ表示水晶腕時計

クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測等

課題Ⅱ オリエント Cal. 46943 機械式自動巻き腕時計、日・曜付き

機械式時計の故障診断修理とオーバーホール・時間調整等

※制限時間7時間（課題Ⅰは競技開始から3時間以内に提出すること）

第二部門

課題 I セイコー Cal. 7T92A アナログ表示水晶腕時計
クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測等
※制限時間3時間

4. 募集期間

募集開始 平成28年7月22日(金)AM10:00~
募集締め切り 平成28年8月12日(金)PM 5:00(時間厳守)

5. 申し込み方法

別紙申し込み用紙に必要事項を記載し、上記期間中に申込書をFAX送付してください。

6. 問い合わせ先

ジョウ・ジャパン事務局 担当:樋口
TEL : 03-3833-7821 FAX : 03-3833-7823

第29回時計技能競技全国大会開催要綱

名称 第29回時計技能競技全国大会
主催 ジョウ・ジャパン（全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合）
後援 厚生労働省 滋賀県
中央職業能力開発協会 一社 日本時計協会
日時 平成28年11月17日（木） 開会式 午後3時00分
18日（金） 競技 午前8時30分
19日（土） 表彰式 午前9時
閉会式
会場 〒520-0015 滋賀県大津市神宮前1-1
近江勸学館 Tel. 077-524-3940 Fax. 077-522-3618

競技部門・第一部門（メカ・クォーツ）

課題Ⅰ セイコー Cal. 7T92A アナログ表示水晶腕時計、
クロノグラフ機能、日付き
課題Ⅱ セイコー Cal. 7S26C 機械式自動巻き腕時計、日・曜付き

第二部門（クォーツ）

課題Ⅰ セイコー Cal. 7T92A アナログ表示水晶腕時計、
クロノグラフ機能、日付き

表彰 第一部門 優勝：厚生労働大臣賞
準優勝：中央職業能力開発協会会長賞
優秀賞：JOW・Japan理事長賞
技能賞：JOW・Japan競技委員長賞
第二部門 優勝：厚生労働省職業能力開発局長賞
準優勝：（一社）日本時計協会会長賞
優秀賞：JOW・Japan理事長賞
技能賞：JOW・Japan競技委員長賞
○参加賞：各自が競技に使用した時計
第一部門参加者：メカ時計 第二部門参加者：クォーツ時計

参加費 第一部門 1名 29,000円(消費税含)

第二部門 1名 22,000円(消費税含)

※参加費の返却について：9月25日（水）以降の辞退は返却しない。

参加資格 特に問わない（進行は日本語で行う）

参加人数 各部門とも20名を上限とする。但し、両部門の合計人数が40名を超えた場合は調整を行う。

申込〆切 平成28年8月12日（金） FAXの申込可

【大会レポート】

11月17日から19日までの3日間、滋賀県大津市の近江勸学館で、全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合（ジョウ・ジャパン、近藤千佳之理事長）主催による『第29回時計技能競技全国大会（後援＝厚生労働省、滋賀県、中央職業能力開発協会、（一社）日本時計協会）』が開催された。

今年は10月に山形県において中央職業能力開発協会による技能五輪全国大会が開催されたため、例年通り11月の開催となった。大会は、表彰式閉会式が行なわれた最終日こそ天気が崩れたものの、2日間は晴天に恵まれ、気候も安定した中で競技が行われた。

競技は第1部門（機械式時計、クォーツ時計）と第2部門（クォーツ時計）に分かれて行われ、全国から33名（第1部門17人、第2部門16人）が参加した。参加者の平均年齢は25.7歳（前年27.8歳）、入賞者の平均年齢は22.9歳（前年25.3歳）となった。

18日午前9時30分の競技開始から午後5時30分までの7時間（第2部門は制限時間3時間のため12時30分にて終了）で、参加者たちは事前に公表された課題と大会用に作りこまれた不具合箇所のある腕時計から不具合の発見、修理という細かい作業を行った。

競技後、参加者により提出された課題時計をひとつずつ競技委員が検査、採点、さらに深夜にまで及ぶ審査の結果、第1部門にて優勝したのは、セイコーエプソン(株)塩尻事業所に勤務する澁井智行さん（20）。第2部門も同じくセイコーエプソン(株)塩尻事業所の小池清美さん（19）が優勝。昨年の大会同様、今年も両部門ともセイコーエプソン(株)事業所が優勝という結果になった。さらに澁井さんは、10月の技能五輪全国大会でも優勝しており、ダブル優勝となった。